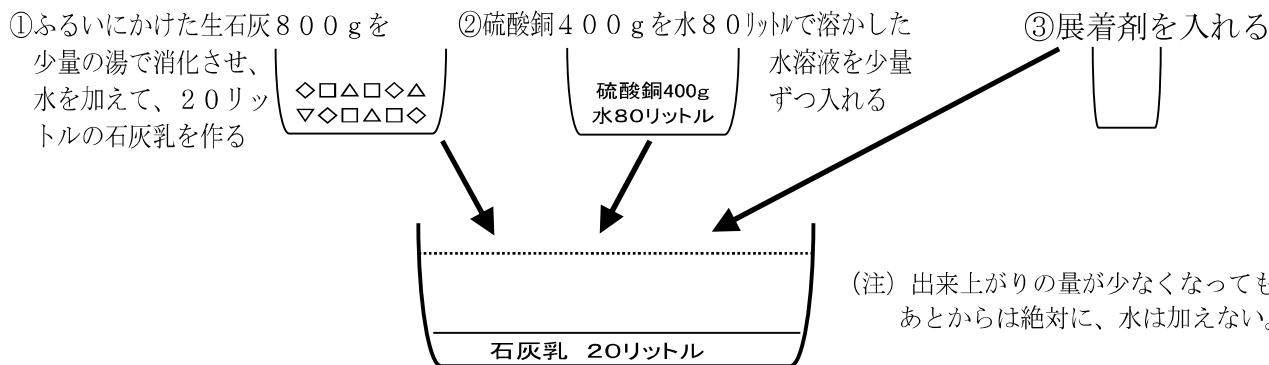


【果樹参考2】

ボルドー液の作り方

- ボルドー液の濃度は○-△式で表わされ、○は調製液1リットル当たりの硫酸銅のg数を、△は生石灰のg数を示している。例えば4-8式のボルドー液を100リットル調製する場合は硫酸銅を400g、生石灰を800g準備すればよい。
- 生石灰を少量の湯で十分に消化させ、石灰乳を作り、温度が下るまで待つ（ほぼ一昼夜）。
- 硫酸銅を溶かす。この場合、金物容器は使用しない。
- 図の様に、石灰乳の中へ薄い硫酸銅液を少量ずつ入れる。この時十分に攪拌する。
- 展着剤等は最後に入れる。
- 散布し終えるまで、攪拌を続ける。



【果樹参考3】

かんきつ苗木の防除について

苗木は非食用作物であるが、農薬の使用の際には、適用内容を遵守することが重要である。また、近年苗木時期での農薬散布の省力化を目的とした、粒剤による施用方法や散布剤の高濃度樹幹散布が新たに登録されてきている。そこで、かんきつの苗木に対して登録のある主な農薬、及び考えられる注意事項を以下に作成した。

かんきつの苗木（苗圃・育苗期）に登録のある主な農薬

RACコード	農薬名	適用病虫害名
4A	モスピラン粒剤	ミカンハモグリガ、アブラムシ類
4A	アドマイヤー1粒剤	ミカンハモグリガ
4A	アクタラ粒剤5	ミカンハモグリガ、コナカイガラムシ類
4A	アクタラ顆粒水溶剤	ミカンハモグリガ、アブラムシ類、ゴマダラカミキリ
4A	ダントツ粒剤	ミカンハモグリガ
4A	ダントツ水溶剤	ミカンハモグリガ、アゲハ類、アブラムシ類、ゴマダラカミキリ
28	エクシレルSE	ミカンハモグリガ、アゲハ類、アブラムシ類、ゴマダラカミキリ成虫

注意事項

- 成木には使用しないこと。また、成木が苗木の周囲にある場合は注意して使用すること。特に成木の根が苗木近くまで伸びていると、成木も粒剤や高濃度希釈液の成分を吸収することが考えられる。
- 大苗では効果不足になるおそれがあるので、できるだけ1～3年生の苗に使用する。
- 施用した苗木が果実をつけた場合は、食用や飼料に供しないで廃棄すること。
- 総使用回数は、粒剤や水和剤、フロアブル等を合わせた回数となっているので、特に注意すること。
- 薬剤処理から効果の発現まで、通常10～14日程度要するため、予防的に施用すること。対象害虫の寄生がすでに多い苗木の場合は、その作物・適用病虫害で登録のある農薬（水和剤や乳剤、フロアブル剤）を通常濃度で樹全体に散布すること。
- 粒剤の施用方法は、苗木主幹部の周囲に規定量を散粒し、その後軽く散水する。処理後に株元の土が乾燥しすぎると効果が低下するおそれがあるので、必要に応じて散水すること。
- 過去1年間に農薬を使用した苗木を販売もしくは譲渡した場合はその旨を伝えること。